

今年度、3年ぶり増へ

コンクリートパイプ 向けの鋼材需要が今年度は増加しそうだ。コンクリートポール・パイプ協会(会長・黒瀬晃)がこのほど発表した2016年度コンクリートパイプ需要予測によると、前年度比3・6%増の280万トと3年ぶりに増加する見通しだ。

公共事業などの官需が同18・1%増の13万ト、民間が同8・8%増の100万ト、沖縄を含む九州が同13・5%増の33万トと大幅な伸びが予想される一方で、北信越は同19・9%減の16万ト、中国が同5・7%減の29万ト、中部が同2・9%減の28万トの減少予想。地域別では、北海道がみられる。その他の

山静が同2・8%増の5万5千ト、関西が同4・3%増の34万ト。なお15年度出荷実績は前年比3・4%減の270万1千トだった。前年割れは2年連続。山静が同2・8%増の5万5千ト、関西が同4・3%増の34万ト。なお15年度出荷実績は前年比3・4%減の270万1千トだった。前年割れは2年連続。

溶融亜鉛めっき鋼板輸入

4月、4割増の2.5万ト強

中国製GIが増加

財務省によると、4月の溶融亜鉛めっき鋼板(GI)輸入は前年同月比44・8%増の2万5894トとなった。前年増は4カ月連続。平均単価(CIF価格)は前月比1割安の5万8100円と、2016年1月の安値を更新、年初来安値となった。旧正月以

万9600円、台湾124トで同7万470646トで同6万4千0円、門司が中国のみ円、韓国は970トで1175トで同5万

ステンレス流通協会連合会

今井会長を再選

全国ステンレス流通協会連合会は2日、東京・茅場町の鉄鋼会館で定時総会を開催し、今井隆会長(大和特殊鋼社長)を再選した。副会長(各地区のステ

就任後の会見で今井会長は「次期繰越金が減少傾向にある。一定増額まで減少した段階と

プライメタルズ

墨AHMSAへ納入の稼働 焼きならしライン



三菱日立製鉄機械と独シーメンズの合併会社、プライメタルズ・テクノロジーズ(PT、同ラインはPTが13

▽「ものづくり企業にもマーケティング戦略は必要」と説くのは、日鉄住金総研のシニアコンサルタント、倉沢鉄也氏(写真)。倉沢氏



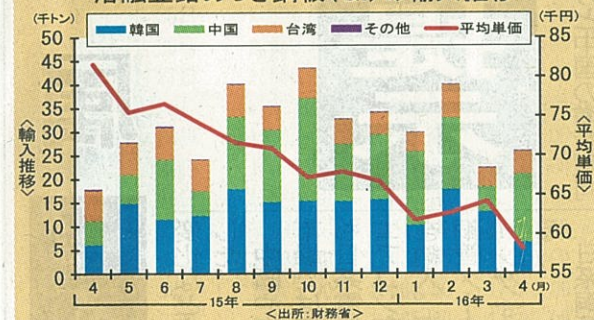
日鉄住金総研の倉沢氏

「素材メーカーも売る工夫を」

は電通総研と日本総研で計20年、企業の経営や事業戦略に携わってきた経営コンサルタント。専門分野は通信・放送やIT(情報技術)

など多岐にわたるが、伝する前に、幅広い目線に移ってからは鉄鋼を理することが大事」と倉沢氏。他業界の成功例を学んだり顧客の先客や最終利用者の姿を想定したりすることが重要と強調する。▽倉沢氏は、素材メーカーには「品質が良ければ売れる」「商社が売ってくれる」「景気がよくなれば売れる」といった固定観念が根強いと指摘。売るためにはまだ工夫の余地があるのではと提唱する。演。「大いに大いに刺激になった」と聴講者

溶融亜鉛めっき鋼板(GI)の輸入推移



入着税関別では、千葉が9567ト(中国は6353トで平均単価は5万300円、韓国は1548トで同6万200円、台湾は1666トで同6万3800円)。